

平成 18 年度

経済局予算要求方針

目次

1	平成18年度経済局予算要求総括表	1
2	18年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	3
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
	(3) その他の重点事業	
4	事務事業の総点検	8
	事務事業の見直し	

1 平成 18 年度経済局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 17 年度 予 算 額 (A)	平成 18 年度 要 求 額 (B)	増 減 額 (B) - (A)	増減率 (B / A)
産業振興部	84,628 (1,092)	87,694 (1,380)	3,066 (287)	3.6% (26.3%)
雇用推進部	504 (503)	310 (310)	193 (194)	38.4% (38.4%)
農務部	512 (447)	485 (428)	28 (19)	5.4% (4.2%)
合 計	85,644 (2,043)	88,490 (2,118)	2,845 (75)	3.3% (3.7%)

1 ()内は一般財源額

2 項目ごとに四捨五入を行っているため総額と内訳が一致しない場合がある

2 18年度予算要求にあたっての基本的考え方

『元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ』の実現に向けて

経済局は、次に掲げる札幌の未来像を目標とし、下記のとおり重点化を図り、予算要求を行うこととしている。

- ◎多くの企業が時代の変化に対応した事業展開に取り組み、市民やNPOは積極的に起業に挑戦している。
- ◎札幌の様々な資源を活かした高い競争力を有する企業が育ち、新製品・技術が札幌ブランドとして国内外に発進され経済は活力に満ちている。
- ◎働く側にとっても、男女ともに多様な就労の機会が充実するなど、生きいきと安心して暮らしている。

～重点取組項目～

- 長引く景気低迷を受けて、本市企業の9割を占める中小企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっていることから、札幌元気基金や既存の本市融資制度の拡充等により資金面での支援を充実させるとともに、中小企業アドバイザー事業等により中小企業の経営基盤の強化を図る。
- 本市の厳しい雇用環境を踏まえ、人材集約型企業の新たな誘致施策を展開し雇用機会の創出を図るとともに、市内事業所数の約1割を占める建設業の深刻な経営・雇用情勢に対応するため、建設業の人材や技術を活かした新たなビジネスモデルの確立に向けた支援事業を引き続き実施する。また、若年層や再就職を目指す女性、中高年齢者などが就業するための支援を、国等の関係機関と連携しながら進めていく。
- サッポロバレーの集積を始めとする本市IT産業の優位性を活かし、産業全体の高度化を図るとともに、札幌の特性を活かした新産業を創出するため、デジタルコンテンツ・食・バイオ・健康・環境分野の産業を振興する。また、札幌の持つ都市イメージを活かした戦略的な事業展開を促進し、産業の活性化を図る。
- 経済のグローバル化が進んでいる中で、アジア地域は有望な市場として注目されていることから、北京駐在員事務所等を活用してアジア圏との経済交流を促進するとともに、市内企業のビジネスチャンスの拡大や技術の高度化を図っていく。

3 予算要求の重点事項

(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

札幌元気基金と既存の融資制度を活用し、中小企業や創業に挑戦する市民・NPOに必要な資金を供給するとともに、相談機能の拡充、専門家によるアドバイザー制度、人材育成や情報提供の充実など、実効性の高いきめ細やかな支援を行う。

また、人材集約型の企業誘致等により、雇用機会の創出と雇用の安定を図るとともに、各種就業支援策を展開していく。

さらに、大学等の研究成果の集積を活かした新たな産業の創出やアジアとの経済交流を促進する。

1 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

84,860百万円(80,960百万円)

注:()内は17年度予算額

ア 札幌元気基金事業(産業振興部) 2,293百万円 【新まち等、レベルアップ】

中小企業や創業に挑戦する市民の様々な資金ニーズに対応した「札幌元気基金」を16年度に創設。資金繰りに苦しむ小規模事業者向け、事業拡大等に意欲的な中小企業向け、企業の再生を進める中小企業向けの資金等で構成している。18年度は232億円の資金枠を確保する。

イ ベンチャー支援事業(産業振興部) 131百万円 【新まち等、レベルアップ】

札幌市の経済を牽引していく先端分野のベンチャー企業を育成するため、事業を軌道に乗せるまでの創業支援を行う。また、今年5月に設立した「札幌元気ファンド」に続き、対象をより幅広い分野に広げたファンドの設立に取り組む。

ウ 中小企業金融対策資金貸付(産業振興部) 82,380百万円 【新まち等、レベルアップ】

中小企業の資金調達の円滑化を図るため、資金需要の高い一般中小企業振興資金の新規融資枠を拡大する。

エ コミュニティビジネスによる商店街振興事業(産業振興部) 13百万円 【新まち等、新規】

コミュニティビジネスによる地域商業の活性化を図るため、商店街等と市民活動団体が連携して実施する取り組みに対して支援を行う。

オ 中小企業支援センター事業（産業振興部） 43百万円【配分、レベルアップ】

中小企業に対する経営、創業、融資などに関する相談、専門家派遣、経営診断等を札幌中小企業支援センターで実施する。18年度は新たに移動窓口相談、サンデー窓口相談、インターネット経営相談を開始し、相談機能の充実を図る。

【成果指標】

2. 中小企業向け融資制度の新規融資件数

【目標】 7,159件 11,000件

【18年度効果】 +500件（累計13,228件）

3. 中小企業向け融資制度の新規融資額

【目標】 638億円 2,414億円 ~

【18年度効果】 +1,154億円（累計3,133億円）

4. 中小企業支援事業利用実績

【目標】 3,584件 5,000件

【18年度効果】 +224件（累計5,000件）

2 安心して働ける環境づくり

395百万円（247百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

ア 就業サポートセンター事業（雇用推進部） 111百万円

【新まち等、レベルアップ】

ハローワーク、民間と連携したワンストップ型の就業支援施設「札幌市就業サポートセンター」において、各種就職支援事業を実施する。

イ 若年層就業体験支援事業（雇用推進部） 78百万円【新まち等、新規】

若年層に就業体験の機会を提供するとともに、雇用機会の創出を図るため、受入企業の確保や受入企業への必要な支援を行う。

ウ 雇用創出型ニュービジネス立地促進事業（産業振興部）

162百万円 【新まち等】

市場性があり雇用創出効果が期待できるコールセンターやニュービジネス（ ）等の立地促進を図るため、企業訪問、誘致PRや立地企業に対する補助、就職セミナー等の開催を行う。

情報技術を活用し、企業の人事、経理、データ入力等の事務処理業務を行う事業

エ コミュニティ型建設業創出事業（産業振興部）

12百万円【新まち等、レベルアップ】

家屋補修等の生活ニーズと、建設業の人材や技術をコーディネートするビジネスモデルの確立に向け、支援事業を実施する。18年度はコーディネート組織のあり方、企業グループ参入の仕組みを改善するとともに実施期間を3ヶ月延長し、5区程度で実施する。

オ 中小建設業等経営資源活用型モデル事業（産業振興部）

32百万円【新まち等、新規】

中小建設業者等が行う経営の効率化・基盤強化への取り組み、経営資源を活かした新分野進出への取り組みに対する支援を行う。

【成果指標】

5. 札幌圏の有効求人倍率

【目標】0.38倍 0.54倍 【17年度効果】+0.03倍（累計0.54倍）

6. 札幌圏の就職者数（月平均）

【目標】5,185人 6,500人 【17年度効果】+913人（累計6,500人）

3 協働による観光振興とコンベンション事業の推進

15百万円（15百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

ア フードランド北海道開催費補助（産業振興部） 15百万円【新まち等】

道産食材の消費拡大と食関連産業の振興を図るイベントに対し補助を行い、「札幌の食」の魅力をアップすることで観光集客にもつなげる。

4 さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興

184百万円(64百万円)

注:()内は17年度予算額

ア 高度情報通信人材育成・活用事業(産業振興部)105百万円【新まち等、新規】

高度な知識や技術を有する情報通信の人材を体系的に育成し、技術力を公的に認証することで、首都圏や海外企業との結びつきを強め、情報通信産業全体の活性化を図る。

イ デジタルコンテンツ産業化推進事業(産業振興部)

35百万円【新まち等、レベルアップ】

芸術文化産業の育成と札幌の魅力発信に向け、その一翼を担うデジタルコンテンツビジネス()をターゲットにビジネス基盤の確立に向けた取組みを展開する。
18年度は札幌国際短編映画祭(仮称)を開催し、札幌の持つ高い技術を効果的に世界に発信することで、ビジネスチャンスの拡大を図る。

パソコン等を駆使し、映像、音楽、ゲームなどのコンテンツを制作し、流通させる業種

ウ 創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)推進事業(産業振興部)

15百万円【新まち等、レベルアップ】

創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)という札幌の都市イメージ()の普及、定着を図るため、国際会議、ワークショップ、市民セミナー等の国際イベントを開催する。

「創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、絶えず新しいコト、モノ、情報を発信してく街」であること

エ 札幌ブランド構築・推進事業(産業振興部)

29百万円【新まち等、レベルアップ】

経営資源の一つとして重視されている「デザイン」を媒介に様々な産業が横断的・有機的に結びつき、札幌独自の付加価値の高い製品やサービスが創出される取組みを進める。

平成18年度は16年度に引き続き、2回目の「札幌スタイル・デザインコンペティション」を開催するほか、デザインセミナーや認証制度等を実施する。

【成果指標】

11. 情報関連産業事業所数

【目標】282 314 【18年度効果】+8(累計314)

12. 情報関連産業売上高

【目標】 2,443 億円 3,027 億円

【17 年度効果】 + 146 億円（累計 3,027 億円）

5 アジアを中心とした産業ネットワークの拡大

30 百万円（33 百万円）

注：（ ）内は 17 年度予算額

ア アジア圏等経済交流促進事業（産業振興部） 14 百万円【新まち等】

アジア圏での札幌産品の販路拡大を促進するため、食を中心とした海外物産展やテストマーケティングを実施する。

イ eシルクロード構想推進費（産業振興部） 16 百万円【配分】

急速に IT 産業の集積が進むアジアの各都市を結び、IT を中心とした人的な交流やビジネスの連携を図る eシルクロード構想を推進する。

【成果指標】

13. アジア地域への輸出額（札幌税関所管分）

【目標】 17 億円 35 億円 【18 年度効果】 + 7 億円（累計 35 億円）

(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

地球環境問題への対応と循環型社会の構築

16 百万円（9 百万円）

注：（ ）内は 17 年度予算額

ア 新産業育成推進事業（環境分野）（産業振興部） 13 百万円【新まち等】

環境関連産業の育成に向けて、環境（エコ）に配慮した経営が企業利益（プロフィット）につながるという「エコプロフィット」の考え方を普及し、新たなビジネスモデルの試行実施に向けた調査をすすめる。

イ 環境保全型農業支援事業（農務部） 3百万円【新まち等】

エコファーマー（ ）の育成・拡大のための支援を行うとともに、都市廃棄物である街路樹等の剪定（せんてい）枝チップを使用した堆肥生産のモデル事業を実施する。

「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づき、堆肥活用による土づくりや化学肥料、化学農薬の低減を図る農業経営計画を道知事が認定した農業者

(3) その他の重点事業

ア サッポロさとらんど魅力アップ推進事業（農務部） 23百万円
【新まち等、レベルアップ】

魅力のある「農業交流体験施設」として利用の増進を図るため、地産地消運動の推進を基本に、市民との協働による参加型イベントを実施する。また、既存する市民農園の連作障害対策として、二期エリアに市民農園を新設する。

4 事務事業の総点検

事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約等 <見直し額 13百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法等の見直し

<見直し額 32百万円>

サービス水準など

農業支援センター等運営管理事業の試験調査課題等の見直し

<見直し額 10百万円>

サッポロさとらんど運営管理事業に係る緑地管理経費等の見直し

<見直し額 9百万円>